

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
社会調査の基礎 Social Survey Basis		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(社会福祉士国家試験受験資格取得 必修 社会福祉主事任用資格に係る科目)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
中島 佳子	栄養棟3階	授業の時間以外		授業中に指示します
授業の概要				
社会調査は、社会福祉士にとって、社会・地域及び施設・機関における利用者のニーズ把握、課題を客観的に捉える手段である。 本授業では、社会調査の理論を概観するとともに、社会福祉士に必要とされる社会調査の手法を学ぶ。				
授業の目標				
①社会調査の意義、目的、用語について習得することができるようにする。 ②社会調査の類型、仮説、手順を習得することができるようにする。 ③社会調査結果を論路的に分析し、表現できるようにする。 ④社会調査倫理と個人情報保護について、習得することができるようにする・				
授業の方法				
テキストと視聴覚教材、関連資料等を使用した講義方式とする。後半は、実際に調査デザインを設計し、分析、実施するため演習形式を取り入れる。				
学習の成果（学習成果）				
①社会調査の基礎知識や概念を説明することができる。 ②社会調査を計画・実施・分析することができる。 ③社会調査実施過程で生じる倫理的配慮について説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業の目標と進め方、成績評価についての説明、諸注意等）			
第2回目	社会調査の意義と目的			
第3回目	社会調査の対象と統計法の概要			
第4回目	社会調査における倫理と個人情報保護			
第5回目	量的調査の方法（量的調査の特徴、全数調査と標本調査）			
第6回目	量的調査の方法（横断調査と縦断調査）			

第7回目	量的調査の方法（自計式調査と他計式調査、量的調査の集計と分析）		
第8回目	質的調査の方法（質的調査の特徴、観察法、面接法）		
第9回目	質的調査の方法（データ整理と分析）		
第10回目	社会調査の実施プロセス（1）調査デザインの設計		
第11回目	社会調査の実施プロセス（2）調査テーマの設定、仮説構築とその類型		
第12回目	社会調査の実施プロセス（3）調査対象者の選定と社会調査の実施		
第13回目	社会調査の実施プロセス（4）データ分析と調査報告書の作成		
第14回目	社会調査の実施プロセス（5）データ分析と調査報告書の作成		
第15回目	社会調査の実施プロセス（6）調査報告 【課題 調査報告書】		
事前・事後学習	事前学習：日常生活で触れる社会調査に目を向けて、意識してそのプロセスを考えること。 事後学習：授業中の課題が終わらなかったときには、次回までに終わらせて持参すること。		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	
		評価の基準	
	授業参加態度	20%	以下の視点で判断する。履修上の留意点を遵守し、遅刻なく準備を整え授業に臨み、必要なことはノートを取り、学んでいること。周りに迷惑をかけるような態度は、減点対象とする。
	レポート		
	調査報告書	15%	調査デザインが立案できること。調査結果は明確な理論と根拠(エビデンス)に基づいて考察、報告がなされていること。
	小テスト		
	試験	55%	選択形式、穴埋め、記述式等で出題し、知識及び内容の理解を確認する。記述式の評価Sは、授業で学んだ知識を用いて、説明ができること。
	発表内容（態度含む）	10%	調査報告書の口頭発表を行う。評価Sは取り組んだ内容（研究デザイン立案、実施等）、分析結果、考察を時系列で述べている。また発表準備も評価対象とする。
	その他		
教科書と参考図書			
『社会調査の基礎』社会福祉士シリーズ5/弘文堂			
履修上の留意点・ルール			
私語、携帯電話の使用を禁止する。授業に関係のないもの（携帯電話、食べ物、飲み物、化粧品、手帳）はかばんにしまうこと。 配布資料・板書のデジタル化禁止。他の受講生に迷惑をかける行為があった場合は、退出を求めることがある。			